

景観形成資源の保全及び活用に係る登録・認定建造物制度の検討

都市づくり推進課

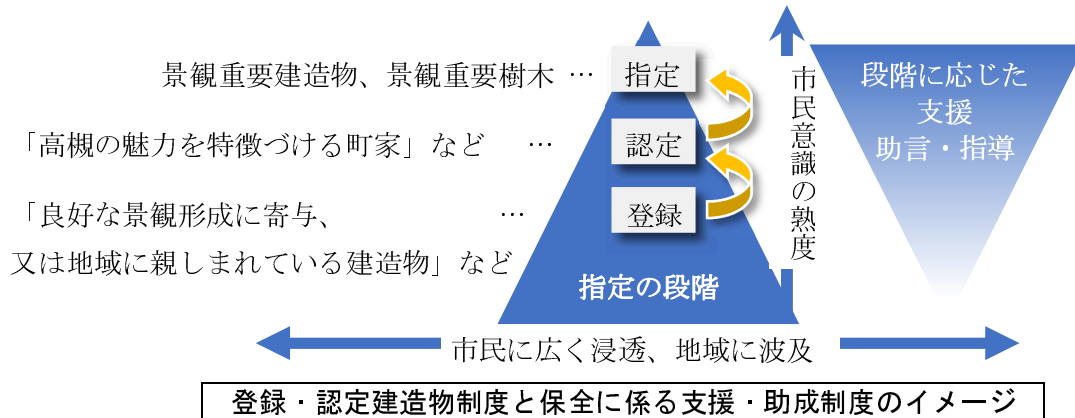
1 趣旨・目的

本市では、本市の魅力特徴づける自然環境、歴史・文化資源等の景観資源が市民に十分に認知されない課題がある中、景観条例の適切な運用等により建造物への景観配慮を誘導するほか、市民の景観に対する意識を醸成して地域への愛着を育成することにより、本市の特長を活かした活力と魅力あるまちの形成を図ることが求められる。

このような状況を踏まえ、都市景観形成事業として、本市の良好な景観形成を図るため、風格と趣のあるまちなみの形成に向け、景観資源の保全等について検討を行うこととしている。

その一環として、市内に現存する町家等の景観形成資源の保全に向けて、以下の制度について検討する。

- ①登録・認定建造物制度
- ②登録・認定建造物の保全に係る補助・助成制度
- ③景観重要建造物の保全に係る制度



2 今年度の取組

(1) 対象地区の選定

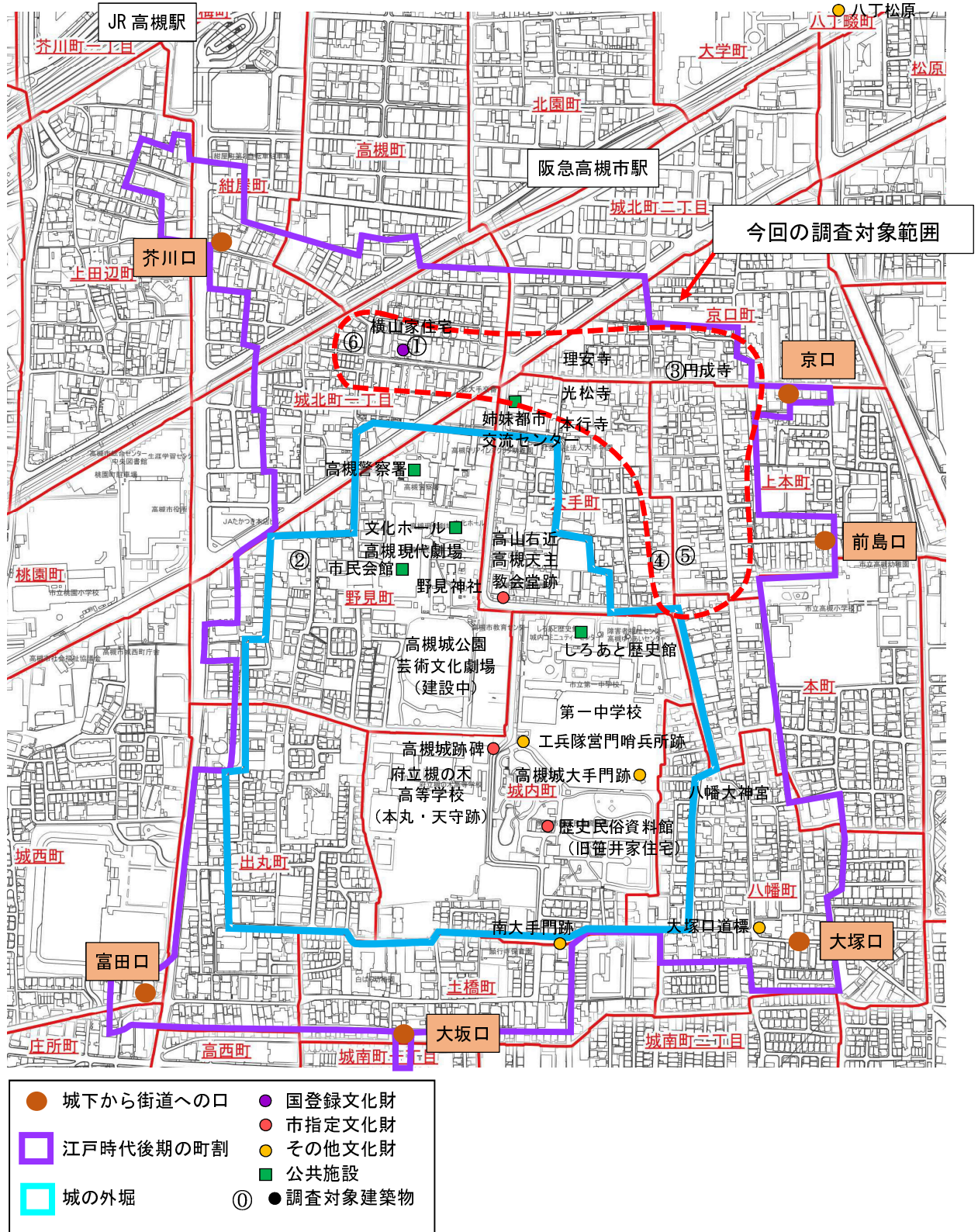
現在、高槻市文化財課では、高槻市文化財保存活用地域計画の策定に向けて、次頁の高槻城を核とした範囲を城下町エリアとし、文化財保存活用区域の設定を検討している。

今回、この城下町エリアに現存する町家等を対象として状況について調査を行い、城下町エリアの登録・指定建造物の候補の選定基準と修景基準について検討することとした。

対象とする町家等については、第1回高槻市景観賞での受賞・入選建築物のほか、「マチヤ・レポート 高槻町家図鑑 001」の著者である岩崎卓宏氏の協力を得て、当該書籍の1期調査分を対象として現状の調査を行った。

(2) 対象建築物の状況

【資料1】「城下町エリアにおける調査対象建築物の状況」に記載のとおり、調査対象建築物について、階数や屋根、壁面、開口部等の状況を整理した。



※図中に記載の番号は建物位置（景観賞に関連して公表の了承が得られている物件のみ記載）

登録・認定建造物の候補の視点として、建築当時の状況からの改変を確認するため、以下の項目について整理した。

建築当時の仕様と考えられる項目

階数：平屋・厨子・本2階 屋根：本瓦葺・棧瓦葺 壁面：漆喰塗・板張
開口部：木製 室外機：なし 塀：土塀 駒寄の柵：木製 屋外広告物：木製

【資料1】

城下町エリアにおける調査対象建築物の状況（マチヤ・レポート参照）

No.	竣工年	景観賞 受賞 ◎ 入選 ○	階数	屋根	壁面	開口部	建築設備	工作物 (塀等)	屋外 広告物	備考
①	享保14年	◎	本2階 (厨子)	棧瓦葺	白漆喰	木 玄関SS	なし	土塀	木製 突出看板	国登録有形文化財
②	天明 昭和52年増改築	◎	厨子	棧瓦葺	白漆喰	木	なし	土塀 CB塀	なし	通り沿いは土塀と門で、母屋は望見できない。 南側隣地境界がCB塀
③	明治43年	○	厨子	棧瓦葺	黒漆喰	木	なし	なし	なし	
④	不明	○	厨子	棧瓦葺	白肌漆喰	木 車庫SS	なし	駒寄鉄柵	なし	
⑤	不明	○	厨子	棧瓦葺	白漆喰	勝手口木	室外機	土塀 駒寄鉄柵	なし	CB塀、アルミ引違戸が土塀に連続
⑥	明治31年 平成27年改修	◎	本2階	棧瓦葺	白漆喰	2F アルミ 1F 木	なし	なし	木製	2F 面格子鉄製
⑦	大正末期	-	本2階	棧瓦葺	灰漆喰	木	室外機	なし	なし	屋根・外壁にソタ繁茂 空家
⑧	不明	-	厨子	棧瓦葺	2F 白漆喰 1F モルタル 腰タイル	1F アルミ 面格子共	室外機	なし	なし	車庫SS
⑨	不明 平成25年秋改修	-	厨子	棧瓦葺	白漆喰 1F 腰石貼	1F アルミ 面格子共	室外機	妻面塀に 車庫SS	なし	外壁腰、袖壁が石貼り 開口部アルミサッシは茶色
⑩	昭和（推測）	-	本2階	棧瓦葺	モルタル	アルミ 面格子一部木	室外機	駒寄木製	なし	
⑪	昭和6年	-	本2階	棧瓦葺	2F 白漆喰 1F 黒漆喰 腰板張	アルミ 面格子木	室外機	駒寄アルミ	なし	腰窓をアルミ掃出しに変更 1階アルミサッシは茶色
⑫	宝暦年間	-	厨子	棧瓦葺	白漆喰 1F 腰板張	木	なし	化粧CB塀	なし	
⑬	不明	-	厨子	棧瓦葺	白漆喰 1F 腰板張	木	自販機	CB+トタン倉 庫	なし	町家の周囲にCB+トタンの倉庫
⑭	不明	-	本2階	棧瓦葺	2F 白漆喰 1F モルタル 腰板張	木	なし	なし	ポスター	妻面アルミ面格子
⑮	昭和26年	-	厨子	棧瓦葺	2F サイディング 1F 白漆喰 腰板張	玄関アルミ	なし	なし	なし	妻入
⑯	不明	-	厨子	棧瓦葺	2F 灰漆喰 1F 吹付	玄関アルミ	室外機	なし	なし	室外機軒吊り
⑰	不明	-	厨子	棧瓦葺	2F 漆喰・土 1F 漆喰 腰板張	玄関アルミ	なし	駒寄木製	なし	玄関アルミサッシは茶色
⑱	明治34年	-	本2階 (厨子)	棧瓦葺	黒漆喰	木	室外機	駒寄木製	なし	

3 今後の取組

- (1) 城下町エリア全体の町家等の調査
- (2) 建造物の保全に関する所有者へのヒアリングの実施
- (3) 城下町エリアにおける登録・認定建造物の候補の選定基準の検討
- (4) 城下町エリアにおける登録・認定建造物の保全支援のための修景基準・制度を検討
- (5) 西国街道芥川宿ほか、市内の町家等の調査